

SERVICE CLUB TO THE YMCA

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
 NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,
 NAGOYA 460 JAPAN



1994年 5月号

- ① 国際会長標語 In sharing we have forever “いつもわかち合いの心を”
- ② アジア会長標語 Think ASIA think Y' SDOM “考えようアジアとワイズ”
- ③ 日本区理事標語 Create a new age “創造しよう新時代”
- ④ 中部部長標語 伸ばそう中部にワイズの輪
- ⑤ 会長標語 温かい心で、まず右手をあげよう。

〈今月の聖句〉

イエスは、別のたとえを持ち出して、彼らに言われた。「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」
 マタイによる福音書 第13章31節～32節

強調月間:メネット

グランパストーク

「手紙」

三井 秀和

「此の世にいかでかかすることありけむと、めでたく覚ゆることは文にこそ侍るなれ」

800年ほど前に書かれた「無名草子」に、こういう言葉で始まる一節がある。文とは無論手紙のことだが、遠く離れ住んでたえて逢うこともない人と心を通わすこともできれば、また口では言い難い心の程を伝えることもできるし、昔の人の面影を残された書簡の中に

しみじみと偲んでも見る——とこんな風に、作者は手紙の利点をかぞえたと、「返す返すめでた」きものと礼讃している。確かに文の訪れは私達の生活に豊かな彩りを添え、楽しませてくれる。実用的な意味でも、もっと深い人間的な結びつきを支えるものとしても、手紙は、人間の生活にとって極めて大きな意義をもち、重要な役割を果たしている。日々の哀歎を込めて、私たちは、手紙を書き、そして受け取る。ある時は心を弾ませ、ある時は心を痛めながら、、、。たった一通の手紙にはかりしれない心のやすらぎを覚え、人生の楽しさをかみしめる。誰にでも一通か二通は、そういう手紙がきっとあるはずです。

(次号は油口直広兄です。5月18日までに吉田一へ)

1994年4月例会のご案内

第一例会

と き ; 5月9日(月)19時~21時
 と こ ろ ; イタリア家庭料理 パン・デュピス
 東区泉1-1-17 38ビル2F
 TEL 962-7376 (P4地図参照)

ドライバー:三井秀和君, アシスト:池野輝昭君
 エスプリきいた集いのスタイルが今、とても魅力的。とっておきのワインを開けて、料理とシンプルに。あとは素敵な会話とみんなの笑顔があれば、それだけで温かい。(会費 4,000円)

〈第一例会の欠席の連絡、及びゲストの同伴の連絡は食事の都合上必ずドライバー又は連絡主事へ5月6日(金)までにして下さい。〉

第二例会

と き ; 5月24日(火) 19時~20時30分
 と こ ろ ; 名古屋YMCA(上前津)

特別例会〈潮干狩り〉

と き ; 5月15日(日)
 (詳細はP.3参照)

YMCAセミナー

と き ; 5月28日(土)・29日(日)
 ところ : 名古屋YMCA根ノ上キャンプ場
 (詳細P.4参照)

4月26日現在	例 会 出 席 状 況				B F ポ イ ン ト		ク ラ ブ フ ァ ン ド (4 月)	
	在 籍 者	24名	第 1 例 会	19名	当 月 ・ 切 手	—	ニ ュ B O X ノ ー ト	—
	例 会 出 席 者	20名	第 2 例 会	12名	当 月 ・ 現 金	—	フ ァ ン ド	—
	当 月 出 席 率	83.3%	部 会 他	4名	累 計	—	合 計	—

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

第一例会報告

今年になって始めての入会式が行われました。早川隆さんです。

早川さんは昭和32年生、名古屋勤労市民生協にお勤です。荒川兄の義弟で学生時代にはYMCAのリーダーとしても活躍されたとのこと新しい仲間として、今後の活躍が期待されます。

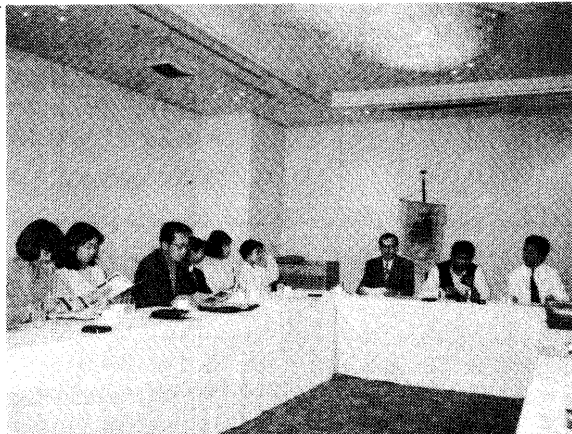


今月の卓話は連絡主事木野村兄の“第16回フィリピンワークキャンプ”報告でした。

今年のワークキャンプは木野村団長のもとに女子12名男子2名の計14名の日本人キャンパーと、フィリピン側5名とスタッフ、現地の人を交え、ネグロス島ドマゲティ市バレンシア町で行われました。

3月3日に名古屋を出発、5日に現地入り、バンド付きのパレードも行われると言う大歓迎を受けました。

高校の教室を宿舎にして、バスケットボール用のコート作りを行いながら、現地の人々や、学校での交流プログラムも実施し、慣れない猛暑の中、若干の病人が出、入院すると



言うハプニングがあるも大事に到らず。素晴らしい交流体験ができたとのこと。

週末にはホームステイもあり、あっと言う間の1ヶ月であったとのこと。

例会にはキャンパーの仲本さん、高木さん、早川さんの3名の女性が出席されそれぞれ感想を述べられました。

未知なる体験をして自分自身の生き方を考え直すことができたこと、多くの人に支えられたキャンプであることを改めて感じたこと、今の生活がこれで良いのかと、日本の生活の見方が変わったこと等、若者の飾らない感激の言葉を聞くことができたのは、少なからず支援をして来たグランパスクラブにとっても意義あるものではなかったかと思われま



尚クラブより贈呈した野球道具は、他に集められた中古のクラブ等と共に現地へ寄贈されたとのこと。今後も又お金を出さずだけでない支援を続けて行きたいものです。

ゲスト：中本尚里さん、高木逸子さん、早川亜香理さん（以上キャンパーの皆さん）

秦野和宏氏（日本長銀）、佐藤繁一氏（中京TV）

<ご存じ?> 4月18日の朝日新聞朝刊に木野村兄が団長として参加した、フィリピンワークキャンプの記事が掲載されました。

9 12版

1994年(平成6年)4月18日 月曜日

三

名古屋YMCA学院

「キャンプは皆のために、もずっと心の中に存在して欲しい。」
四月一日、マニラから名古屋に向かう飛行機の中で、大石公也さんは、みんながつづった日記の最後にそう書いた。

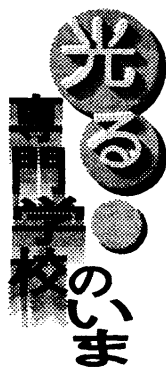
フィリピンワークキャンプ。名古屋YMCA(名古屋市中区上前津二丁目)が、同国YMCA連盟と共同で行っている農漁村開発、地域住民との交流だ。

きっかけは七七年、ミンダナオ島で起きた地震の災害復旧のため、日本全国のYMCAの若者が作業に当たったこと。以来、名古屋YMCAは毎年、フィリピンでのプログラムを続け、これまで二百七十八人が現地を流してきた。

十六回目を数える今年は三月三日から四月一日までの日程で、ネグロス島のバ

社会体育科教授 務主任の木野村映先生を団長に、社会体育科の七人、英語科の二人、他に大学生らも含めて総勢十五人が参加した。

個人負担は二十万円。「生まれて初めて居酒屋さんでバイトをした」川角晃代さんのように、半数がアルバイトをして捻出(ねんしゅつ)した。



比の開発に協力16年



汗流し住民と交流

受ける。子どもたちが「マニ、マニ」と群がり、手をだしてくるのだ。しかも、町では何百人もがパレードして迎えてくれ、大感激だった。

高校の教室に泊まり、ホームステイは一回。水は汚れてそのままでは飲めない。一ムや歌を奏しんだ。町の

慣れないスコップ使いや土運びでできたバスケットボールのコートに勢ぞろいした学生たちや他の参加者.....

人たちのパーティー。外を歩いていると、家の中から「マキ」「マイ」などど声がかかった。真つ暗で分らないのに、あいさつされた。振り返って、川崎涼香さんや宇野舞さん、中村清美さんは「みんな優しい人ばかり」という。

パーティーで、小学生までが「じゃばゆき」という言葉をお口にした。大石さんは「ダンスをするために日本に行く」といっているが、本当か」と聞かれ、答えに困った。「顔付きが変わって真剣なので」、細野麻紀さんは正直に答えた。

木野村先生は「この体験を、どう生かしていくか、です」と、期待を込めて語る。早川亜香音さんは「自分が変わりそう」と。

平岩玉規さんが「大きくなったら、桜を探しに行こうね」というと、全員が「みんなで見に行こうね」と応じた。

特別例会 “潮干狩り&バーベキュー”

とき：5月15日(日) (干潮13時頃)

ところ：知多半島島矢利海岸 “ナチュラル村”

ナチュラル村は坂口兄の勤務先“泉万”が4月28日に新装オープンする、食べ物屋さんです。坂口兄・丹羽姉開発の新製品もあるとか 乞ご期待!

当日は朝の交通渋滞が予想されます。坂口兄のご尽力により前日(土)、現地付近に宿泊することができます。ご希望の方は第一例会で申し出て下さい。

ご家族、友人お誘い合せの上参加下さい。参加希望者には5月第一例会で詳しい内容を連絡します。

第10回名古屋YMCAセミナー

<オーレ 俺の、私の ぼらんていあ〜>

YMCAに集う会員、リーダー、職員が一緒になってワイワイ語り合うセミナーも10回目となり今年は根の上キャンプ場で開かれます。

YMCA、ワイズ活動の体験発表の他、グループでの話し合い、ディナーはスキ焼き、ランチはバーベキューと盛りだくさん、学生リーダー、YMCAで働く人、ワイズ、等々十代から五十代まで日頃に無い触れ合いのチャンスです。

グランパスにも5名程度の出席要請があります。是非参加下さい。

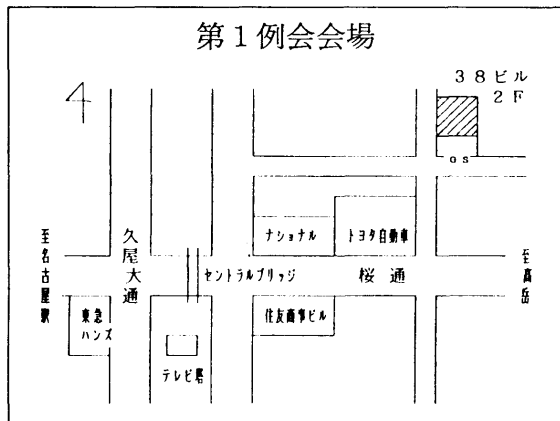
とき：5月28日（土）17時～29日（日）12時頃まで

ところ：名古屋YMCA根の上キャンプ場
(中津川根の上高原)

参加費：30代4,000円、40代以上5,000円
<5月第一例会で希望をつのります。>

ハッピーバースディ

- メン 14日 池野 輝昭
- メネット 6日 滝川 晴美
- 18日 内垣内統要子
- コメント 11日 三井紗代子
- 17日 阿部将也
- 23日 滝川真菜美



93-94 出席表

94.3.22

No	例会氏名	2/14第一例会	2/22第二例会	2/26スキー	3/2フイリビ	3/14第一例会	3/22第二例会	4/11第一例会	4/26第二例会	出席ポイント
1	阿部 一雄	/	/	/	○	○	/	○	○	21
2	荒川 恭次	○	○	○	○	○	○	/	/	13
3	井川 幸吉	○	/	/	/	○	/	○	/	16
4	池野 輝昭	/	/	/	/	/	○	○	○	16
5	内垣内登墨	/	/	/	/	○	/	/	/	9
6	馬場寅太郎	○	/	/	/	○	/	○	/	15
7	尾崎 史郎	○	/	/	○	○	/	/	○	18
8	加藤 道子	/	/	○	/	○	/	○	○	16
9	坂口 功祐	○	○	○	○	○	○	○	○	27
10	坂倉 洋	/	/	○	/	/	/	/	/	17
11	佐藤 壽晃	○	/	/	/	○	/	○	○	15
12	滝川 真充	○	○	/	/	○	/	○	○	20
13	林 勝博	○	/	/	/	○	○	○	/	8
14	三井 秀和	○	○	○	○	○	○	○	○	25
15	宮木常二郎	○	/	/	/	/	/	/	/	6
16	油口 直広	○	○	○	○	○	/	○	○	18
17	吉田 一誠	○	○	/	○	○	○	○	○	30
18	吉田 正	○	○	/	/	/	○	○	/	21
19	高橋 栄造	/	/	/	/	/	/	/	/	3
20	丹羽 真清	○	○	/	○	○	○	○	○	20
21	木野村 映	○	○	/	○	○	/	○	○	21
22	坂野 清治	○	/	/	/	/	/	○	/	8
23	服部 庄三	○	○	/	○	○	○	○	○	10
24	早川 隆	-	-	-	-	-	-	○	/	1

1993-1994年度役員

- 会長 坂口
- 副会長 林、内垣内
- 書記 三井、滝川
- 会計 宮木、尾崎
- EMC 吉田(一)、吉田(正)
- YMCA.S 阿部、井川
- C.S B.F 荒川、馬場、坂倉
- IBC 佐藤、池野
- ファンド 滝川、高橋、尾崎、宮木
- プログラム 林、油口、加藤、丹羽
- ブリテン 内垣内、三井、吉田(一)、木野村
- 直前会長 吉田一
- 連絡主事 木野村